

- 除雪作業について
- 金融リテラシーについて

その他の質問
・観光政策について



吉田将克 議員

議 県外の方がホワイトザウルス周辺の雪の上を歩いたところ、周辺の1m程の段差が分からず足がはまってしまい、抜けるまでに約20分かかった。ホワイトザウルス広場の安全対策はどのように行っており、また、観光地や子どもの通学路でこのようなことが起きないように危険と思われる箇所には何らかの対応をすべきである。

理 ホワイトザウルス広場沿いの市道6-4号線では、除雪で広場に雪が押し寄せられ道路との高低差が小さくなっており、雪の上を歩けると思われて進入した結果、足が雪にはまってしまったと考えられる。市内には同様の箇所が多数あるため、不特定多数が訪れる場所はSNS等で注意喚起を行う。通学路に関しては学校や地域の見守り隊、PTA等と協議し危険箇所の注意喚起を図る。

議 国民一人ひとりが、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現するため、お金の知識や判断力のことである金融リテラシーを身に付ける必要がある。小中学校の教育ではどのような金融教育を行い、消費者保護として、金融商品の販売における問題点や注意喚起はどのように行っているのか伺う。

理 学校での金融教育は、成年年齢の引き下げやキャッシュレス化の進展などを受け、児童生徒が発達段階に応じて金融経済の基本的な仕組みを学べるよう、全教育活動を通じて実施している。小学校ではお金の価値や計画的な管理等を学び、中学校では金融の仕組みや契約等を理解し、将来の生活設計や職業選択のため知識の習得を目指している。消費者保護については、勝山市消費者センターにて出前講座や消費者相談を実施、毎月の市広報誌で相談事例を紹介し注意喚起を行っている。

- 水田の5年水張りルールについて
- 自殺防止について

その他の質問
・宿泊税について
・修学旅行について
・2050年の子供たちのために



下牧一郎 議員

議 政府は水田を対象として支援する水活を、作物ごとの生産性向上等への支援へと転換。令和9年度以降「5年水張りの要件」は求めないと発表した。そこで、「5年水張りルール」はどう変わるのか具体的に問う。

理 令和9年度以降、水田機能の確認のための5年水張り要件は求めないこととなる。令和7、8年の具体的な取組は国から示されていないが、ソバや麦の連作障害対策として、土壌改良材を用いた施肥管理や米ぬかなどの有機物投入が考えられる。今後、具体的な情報が示され次第、農業者へ周知していく。

議 子どもの自殺が深刻になり、国は令和5年6月に対策の強化策を公表した。その柱の一つがコロナ禍を経て小中学生に1人1台行き渡ったタブレット端末の活用だ。気持ちの変化やいじめの有無を定期的に入力してもらい、なるべく早くリスクを把握する狙いがある。そこで、市内小中学校ではタブレット端末を活用して悩みを抱える児童生徒の早期発見につなげる取り組みを問う。

理 小中学校では、発達段階に応じてタブレット端末を活用し、ポジティブ教育や心の学習、困ったときのSOSの出し方について学んでいる。一部の学校ではグーグルフォームを用いた心のお天気チェックを実施し、担任が児童生徒の悩みを把握している。また、心のアンケートやいじめアンケートをタブレットで実施する学校もある。低学年や小規模校などでは紙を使うこともあり、タブレットと紙それぞれの特性を活かして使い分けている。今後も、全教職員が児童生徒の様子を見守り、情報共有し、家庭や専門機関と連携しながら子どもたちの心の悩みの把握や対応に努めるとともに、タブレットの有効な活用について検討していく。